

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

平成31年4月26日

新元号登録第1号！クルーズ船のおもてなしで賑わう霧の街

～「みなと」を核とした賑わい創出！「釧路みなとオアシス」～

「釧路みなとオアシス」登録証交付式のお知らせ

国土交通省港湾局は、新元号登録第1号として、5月1日に「釧路みなとオアシス」（北海道釧路市）を賑わいの拠点となる「みなとオアシス」に登録し、代表施設である「釧路フィッシャーマンズワーフMOO&EGG」等において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「釧路みなとオアシス」の登録により、「みなとオアシス」は全国128箇所になります。
- 5月15日（水）はクルーズ船「アザマラ・クエスト」の寄港に合わせて、おもてなしや「釧路みなとオアシス」の登録証交付式を開催します。

「釧路みなとオアシス」のポイント!!

- ★代表施設「釧路フィッシャーマンズワーフMOO&EGG」は、水産加工品やお土産などの販売や飲食店を備え、年間70万人の旅行者を受け入れる釧路市を代表する情報発信・交流拠点！
- ★クルーズ船寄港時には、釧路みなとオアシス協議会を中心に釧路市民が一体となって盛り上げるおもてなしイベントを開催！
- ★「くしろ霧フェスティバル」は、霧の発生率が日本一という釧路の霧を逆に楽しむために開催されるイベントで、霧にレーザー光を投影する幻想的な光の祭典は圧巻！

記

[登録証交付式]

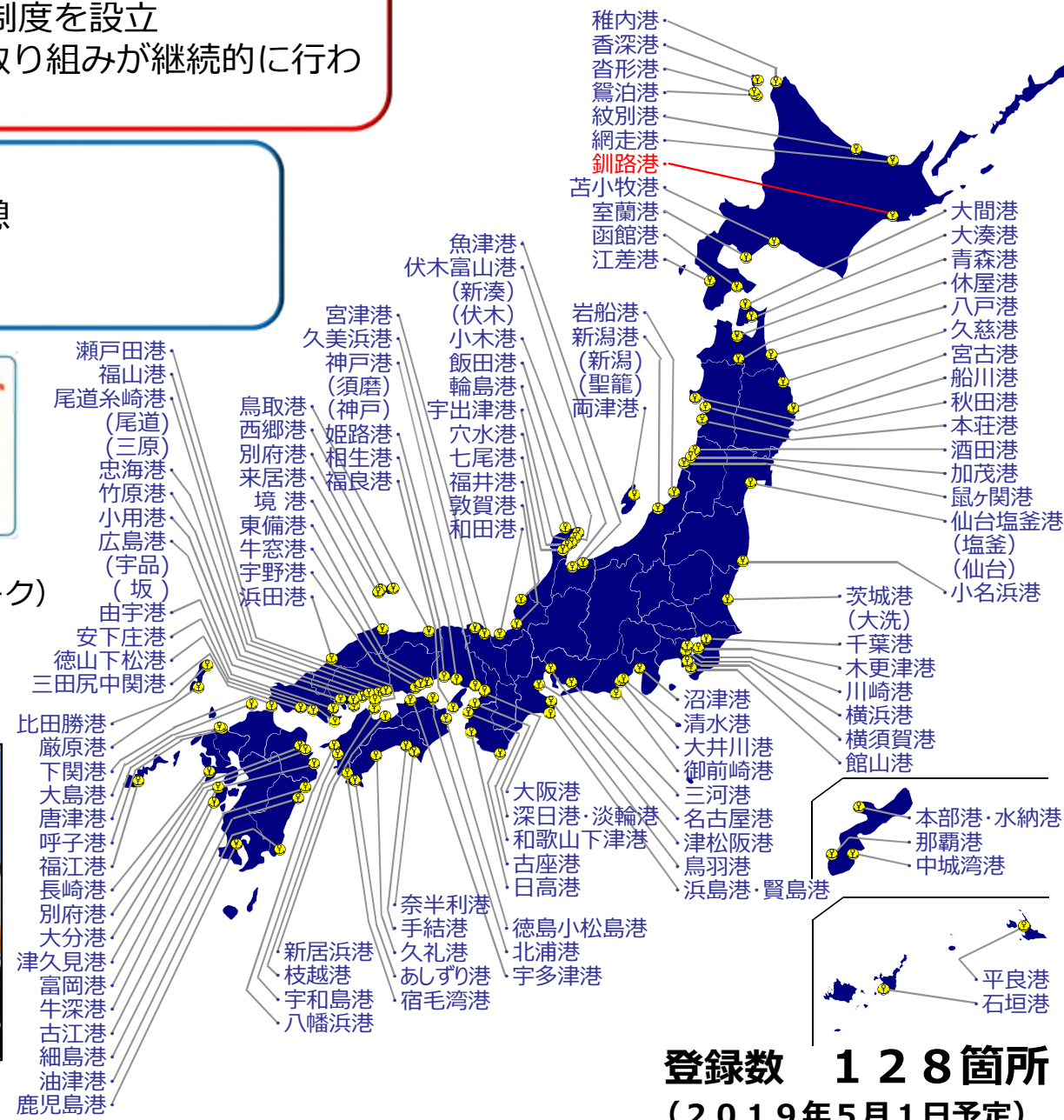
- | | |
|-------|-------------------------------|
| 1 日 時 | 2019年5月15日（水）14：30～（30分程度） |
| 2 場 所 | 釧路フィッシャーマンズワーフ EGG内（釧路市錦町2-4） |
| 3 主 催 | 釧路みなとオアシス協議会 |



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部（電話 0154-24-7326）
築港課 課長 山下 香
上席築港専門官 下口 由晃
釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>
釧路市 水産港湾空港部 港湾空港振興課（電話 0154-53-3371）
みなと活性化主幹 塩田 剛久



みなとオアシス所在港湾の一覧



標章 (シンボルマーク)

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他 (災害時の支援、商業機能 など)

○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体 (港湾管理者含む)
- ・NPO団体、協議会 など



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

登録数 **128箇所**
(2019年5月1日予定)

【概要】 釧路みなとオアシス



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに釧路市作成

【基本情報】	
設置者	釧路市
運営者	釧路みなとオアシス協議会
所在港湾	釧路港【重要港湾】
港湾管理者	釧路市
登録日	2019年5月1日（港湾局長）

【代表施設】



釧路フィッシャーマンズワーフMOO & EGG

【主なイベント】



クルーズ船おもてなしイベント（5月～10月）



くしろ霧フェスティバル(7月)



大漁どんぱく（9月）

くしろ 釧路みなとオアシスの構成施設

代表施設 釧路フィッシャーマンズワーフMOO&EGG



釧路の観光拠点として、年間約70万人の旅行者を受け入れ、水産加工品やお土産などの販売、食堂や軽食喫茶なども営業している。多言語対応の観光案内所を備え、クルーズ船おもてなし時は外国人観光客に対して、着物の着付け体験、書道・茶道体験などの日本文化を通じた交流イベントを開催。



着物の着付け体験



書道体験



観光案内所

構成施設 釧路港耐震・旅客船ターミナル



クルーズ船の寄港時の接岸場所となっており、お出迎え・お見送りのイベント等が実施され、賑わいの場となっている。耐震・旅客船ターミナルとして大規模地震時には、臨海部防災拠点となり、船舶により地域の緊急物資や被災地の復旧のための資機材の受入を行う。



学生によるマーケティング演奏



釧路市観光大使おもてなしソング



くしろ蝦夷太鼓演奏

構成施設 釧路市観光国際交流センター



国の内外を問わずさまざまな交流の拠点として利用されることを目的に建設された都心部の屋内型多目的施設。広々としたホールにフラットな床面、同時通訳ブース、音響AV機器など、充実した設備となっており、「物産店や各種展示会」、「各種まつりやイベント」、「各種学会や国際会議」の会場として利用されている。

さいわいちょう 構成施設 幸町緑地



「くしろ霧フェスティバル」、「釧路大漁どんぼく」、「くしろ冬まつり」など、釧路の季節に因んだ各種イベントが開催され、周辺住民や観光客等多くの来場者で賑わう。災害時には防災拠点として、平常時には野外ステージとして機能する。

くしろ霧フェスティバル (7月)

霧の発生率が日本一という霧の街釧路。多いときで年間発生日数が100日にもなるこの霧を逆に楽しむために構成施設の幸街緑地の野外ステージで開催されるイベント。霧に包まれた夜空を色鮮やかに彩るレーザーとサウンドが織りなす幻想的な空間を楽しむことができる。



釧路大漁どんぱく (9月)

大地の恵み、大海の幸・大空の華をテーマに2004年から開催される食と花火が癒合したお祭り。新鮮な海産物を使った屋台をはじめ、花火大会では道内でも最大級を誇る三尺玉が秋の風物詩となっており、多くの市民や観光客で賑わっている。



くしろ冬まつり (2月)

1965年から始まった長い歴史のイベントであり、メイン会場となる構成施設の釧路市観光国際交流センター前庭には冰雪像や冰雪すべり台が設置され、チューブスライダーも楽しめる。夜にはライトアップや花火の打ち上げが行われ、光と雪の幻想的なコラボレーションを見ることができる冬の釧路の一大イベント。





交通アクセス

<車>

- 札幌方面から：道東自動車道、国道240号経由で約4時間
- 帯広方面から：道東自動車道、国道240号経由で約2時間
- 根室方面から：国道44号経由で約2時間10分

<JR>

- 札幌駅から特急で約3時間50分
- 帯広駅から特急で約1時間30分
- 根室駅から快速で約2時間00分
- 網走駅から快速で約3時間10分

<バス>

- 札幌から高速バスで約5時間30分
- 旭川から高速バスで約7時間10分
- 北見から高速バスで約3時間20分

<飛行機>

- 羽田空港、新千歳空港、丘珠空港→たんちょう釧路空港
- たんちょう釧路空港から空港連絡バスで約55分。



釧路みなとオアシス

観光案内の問合せ先

【釧路観光コンベンション協会】 電話：0154-31-1993 <http://ja.kushiro-lakeakan.com/>

周辺の宿泊情報

気軽に泊まれる格安の宿から、非日常を演出するホテルまで。
都市と大自然とアイヌ文化が融合する日本でも有数のエリアを楽しみながら宿泊してみたいかですか。
【釧路観光コンベンション協会】 電話：0154-31-1993 <http://ja.kushiro-lakeakan.com/>